

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回2月の「てがたん」は2月13日(土)で、「冬芽とロゼット」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは2月6日(土)です。よろしくお願いいたします。

\*参加の有無に関わらず、自然観察と生物調査スタッフのみなさまにレポートを送付させていただきます。

## 1 月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→漁協前→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2010年2月6日(土) / はれ
- 参加者 45名 (一般28名 子ども17名)
- スタッフ 11名 (伊東茂子、大屋貴義、岡廣志、加藤文雄、木村稔、玄地昭八、小泉伸夫、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、吉田一博)
- 鳥博職員 2名 (齊藤安行、村松和行)

## 観察記録 - 1月に観察した生き物リスト-

### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ/カモ科：カルガモ、コガモ、オナガガモ/タカ科：ミサゴ/  
クイナ科：オオバン/シギ科：タシギ/カモメ科：ユリカモメ、セグロカモメ/ハト科：キジバト/カワセミ科：カワセミ/セキレイ科：ハクセキレイ、  
セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ツグミ科：ツグミ、ジョウビタキ/シジュウカラ科：シジュウカラ/ホオジロ科：アオジ/アトリ科：シメ/  
ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/飼い鳥：コブハクチョウ、バリケン、ガチョウ、アヒル  
ドバト

### 【花】

キク科：セイヨウタンポポ/ツバキ科：ヤブツバキ、サザンカ(植栽)/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ/ナデシコ科：ハコベ/シソ科：ホトケノシ

### 【果実・種子】

ツバキ科：ヤブツバキ、サザンカ(植栽)/クスノキ科：シロダモ、クスノキ/バラ科：トキワサンザシ(植栽)/

# 1月の観察アルバム



1月のテーマは「カモをみよう」でした。羽集めをしたり、漁協前の鳥の数をカウントしたり鳥中心の観察会でした。拾った羽を博物館に持ち帰り、その特徴や部位について案内人の木村さんに話をしてもらいました。



案内人 木村稔さん



① 風もない絶好の観察日和



② 漁協前で水鳥の観察



③ オナガガモの数をカウント

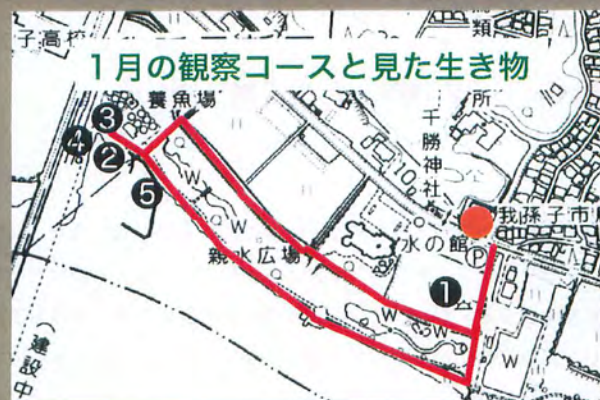


④ オナガ〜は約 150 羽でした



⑤ ユリカモメ成鳥

嘴や足が鮮やかなオレンジ色でした



1月の観察コースと見た生き物



マガモ

カルガモ

オナガガモ

オカヨシガモ

カモの翼鏡 (標本)



拾った羽の持ち主を同定



拾ったバリケンの羽

翼鏡部分は飛翔時カモの識別に役立ちます。→



バリケンの風切羽は、一見カラスの羽にも似ていますが、風切羽の裏側をしてみると、羽軸に沿って盛り上がった「シャイニー・パッチ」という光沢がある部分があります。これはカモやウのような大型水鳥にみられ、羽の補強をしていると考えられます。

## 拾った羽の持ち主を調べました



オナガガモ

♀の肩羽。親水広場で一番多く見られるカモの羽。



マガモ

オスの肩羽。飼い鳥アヒルの原種。



コバクチョウ

尾羽。アヒルの羽に似るが大きさで区別できる。



ドバト

次列風切羽。各羽の付け根にフワフワした羽枝がある。